



今月の一枚

金星



金星は地球の一つ内側を公転している太陽系第2惑星です。

大きさは地球とほぼ同じですが、金星には分厚い二酸化炭素の大気があり、強烈な温室効果が働くため、表面の温度はより太陽に近い水星よりも高く、460℃にもなります。

そんな金星はとても明るく、「明けの明星」や「宵の明星」と呼ばれています。また、地球の内側を公転しているため望遠鏡で見ると月のように満ち欠けが観察できます。

2023年6月15日20時 名寄市の空



夏至前後の期間は1年を通して一番夜が短く昼が長いため、遅い時間帯にならないと空が暗くなりません。しかし南から西には春の星座を、東の空には夏の星座を見ることができます。短い夜の星空をじっくり楽しんではいかがでしょうか。

6月の天文現象

- 上旬 火星とプレセペ星団が大接近
- 4日(日) 金星が東方最大離角
- 10日(土) 月と土星が接近(未明)
- 中旬 金星とプレセペ星団が大接近
- 21日(水) 夏至
- 22日(木) 細い月と金星、火星が接近

6月の太陽と月の出・入

	日の出	日の入	月の出	月の入	月の状態
1日	03:47	19:09	15:50	01:55	4日 満月 ☉
10日	03:43	19:16	--:--	10:18	11日 下弦 ☾
20日	03:43	19:20	04:53	21:23	18日 新月 ☾
30日	03:46	19:21	15:56	00:41	26日 上弦 ☽

惑星情報

水星は上旬から中旬の昼間に、金星は昼間から夕方まで、火星は中旬までの暗くなってから見られます。



6月の休館日とピリカ望遠鏡公開日

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

休館日 閉館時間 13:00 ~ 21:30 (最終入館時刻は 21:00)

※ピリカ望遠鏡の公開時間は限られています。詳しくはHPもしくはお電話でご確認ください。 ※急きょ必要な観測が生じた場合は見学、観望が出来ない事があります。

イベント情報

- ★太陽観望会 2030年の金環日食と同じ時間に太陽を見よう 日 時 5月31日(水) ~ 6月4日(日) 各16:00 - 18:00 料 金 観覧料のみ
- ★超新星観望会 M101銀河に突如現れた超新星を見よう 日 時 5月31日(水) ~ 6月11日(日) 各20:30 - 21:30 休館日除く 料 金 観覧料のみ
- シン・天文講座(市民講演会) 小惑星や彗星など太陽系小天体について詳しくなろう 日 時 6月24日(土) 15:00 - 15:50 料 金 無料、予約不要。 テーマ 太陽系小天体の科学 講師 北海道教育大学旭川校 教授 関口朋彦氏 対象 市民(小学4年生以上推奨) オンラインも予定しています。詳しくは天文台ウェブサイトにて

最新情報はお電話、もしくはWebサイトにてご確認ください。 電話:01654-2-3956 受付時間:休館日を除く 13:00~20:00